

年末年始のこの時期は、イルミネーションや初詣、旅行など、混雑している場所に行くことが多くなります。歩いていて人とぶつかったり、お店が混んでいて待ったり、イライラしたとき、思ったようにいかないときに、人権意識が試されます。ぶつかろうと思っていただけでもなく、お店の人も一生懸命対応しています。人の立場に立って考えられれば態度や対応は変わります。そこには、人を思いやる人権意識の基本があるはずで、人混みだからこそ、人のことを思いやり考えられる余裕が欲しいものです。



## 映画「夢見る校長先生」から学ぶ

最近、公立小中学校のユニークな教育改革を紹介した映画「夢見る校長先生～子どもファーストな公立学校の作り方」(※1)が、全国各地で自主上映され評判が広がっています。山梨県でも、山梨県弁護士会の主催により今年3月17日に県立文学館で上映されました。

来年(令和7年)1月19日(日)には、須玉ふれあい館ホール(北杜市須玉町若神子521-17)で2回上映予定(10:00～11:30、14:00～15:30、入場料800円)です。できれば、この映画を県内の多くの教育関係者や保護者、子どもたち等に観ていただけたらと願っています。

この映画では、通信表を廃止した小学校、校則をなくした中学校、宿題をゼロにした小学校などと、ユニークな教育改革に踏み切った校長先生たちが生き生きと紹介されています。長野県の公立小学校・伊那市立伊那小学校では、60年前から通知表がありません。神奈川県茅ヶ崎市立香川小学校の國分一哉校長は、2020年に通知表を廃止しました。世田谷区立桜ヶ丘中学校の西郷孝彦校長は、校則や定期テストをゼロにしました。武蔵野市立境南小学校の宮崎倉太郎校長は、宿題を廃止しました。実は、学校ルールのほとんどは校長に決定権があります。

この作品を作ったオオタヴィン監督は、3年前に映画「夢見る小学校」(※2)を制作しました。本県でも、今月7日に南アルプス市あやめホールで自主上映されました。そこでは、県内にある私立学校「南アルプス子どもの村小学校・中学校」(※3)(南アルプス市徳永)の“子ども主体の探究・体験学習”の取組がクローズアップされました。

「同校独自のカリキュラムや教育の実践は、私立学校だからできること」という声もあったなかで、続編の『夢みる校長先生』では、公立校であっても校長の裁量や教員の意識改革等で、通知表やチャイム、宿題といった慣習を取り除いてきた取り組みが紹介されています。

映画に登場した、長野県・伊奈小学校の福田校長の声を紹介します。「伊那市立伊那小学校は、(文科省の)学習指導要領を遵守した公立の小学校です。この学校では、60年間、通知表や時間割がない「総合学習」が続けられています。伊那小学校には、こんな理念があります。「子どもは、自ら求め、自ら決め、自ら動き出す力を、持っている」学校は「職場」ではなく、子どもと教師の“人生の邂逅(かいこう)の場”であってほしい、と願っています。」

この映画は、学校での学びや校則がどうあるべきか、児童や生徒がどのように主体的に関わることができるのかといったことについて考えるうえで、良きヒントになるのではないかと思います。



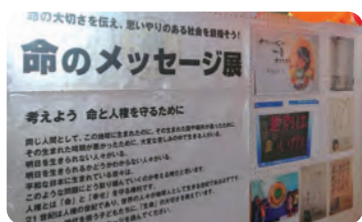
(※1)「夢見る校長先生」公式サイト  
<https://dreaming-teacher.jp/>



(※2)「夢見る小学校」公式サイト  
<https://www.dreaming-school.com/>



(※3)学校法人・きのくに子どもの村学園 南アルプス子どもの村小学校・中学校 ホームページ  
[http://www.kinokuni.ac.jp/nc\\_alps/html/htdocs/index.php?page\\_id=0](http://www.kinokuni.ac.jp/nc_alps/html/htdocs/index.php?page_id=0)



### 活動報告

**人権啓発パネル展** 12月3日(火)～16日(月) 甲府市北公民館、甲府市南公民館において、人権啓発パネル展を開催しました。

### 今後の予定

**人権啓発パネル展** 1月14日(火)～24日(金) 甲斐市役所にて、人権啓発パネル展を開催します。

人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチャ  
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史  
理事長：横山美香

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室  
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. [yamanashi@yihrc.or.jp](mailto:yamanashi@yihrc.or.jp)

< 協賛 >  
山梨県  
甲府市  
甲斐市

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

山梨県内中学校一年生女子

杉藤先生、今日はお忙しいなか私達に貴重な時間を作り、人権の大切さを教えていただきありがとうございます。私は人権という言葉は聞いたことあつたけど、人権とは何か人権は何に役立つのかなど、全然分かっていませんでした。なので今日は人権について知れてとても良かったです。人権とは生きていくためにとても大切なものだとは分かりました。自分の命、自分の幸せを守るためにある人権なのに、今日見たビデオでもあつたように、世界の国々では戦争をしていたり、戦争のせいで難民が増えたり、世界中では一人一人の人権が与えられていない人達がたくさんいます。そこで、国境なき医師団への活やくにても尊敬できました。どこか、世界中に困っている人達がいれば、どんなことでも困っている人のために協力をさそって本身にかけられることには少しはあると思うので、小さいことでも行動にうつしていきつうにしたいです。

杉藤先生、今日は人権教室をしてくださりありがとうございました。私は、人権について「人が持っている権利」という事と、憲法である「基本的な人権の尊重」という文しか知りませんでした。今日、杉藤先生が教えてくれたのは国境なき医師団でした。この国境なき医師団とは、私にとつて観れば差別のない医師団だと思えます。それは人にとつて国せきなどのことは今さらどうしようもないことなので、こういうことにとつて差別する理由もないけど差別しないということを意識しているのはいいと思いました。特にいいなと思ったのは、人権の「自分の幸せを願う」の手助けをしているという事です。内戦からのがれてきた人の幸せを孝えて自分でもリスクを背負いながらの難民の治りようを行って、いるなんて尊敬できます。また、その元凶の自分勝手な行動をして、いる独裁者がいなくなることでそれによつて苦しんでいる人々が、国境なき医師団の力がなくても生活できるよになつてほしいと思いました。

山梨県内中学校一年生女子